NCデーター入出力装置

mametan

取扱説明書　Ver2．2

（簡単操作マニュアル）

この度は、mametan をお買い上げ頂きありがとうございます。
本書は、お手元にてご覧いただく為の、簡単操作マニュアルです。
各項目のより詳しい内容につきましては、添付CD内の「mametan 取扱説明書」をご覧下さい。

平成22年2月

リュウビシステム

1. 基本操作

操作1： データの出力

指定されたディレクトリの指定されたファイルのデータをNC制御機へ送出します。
〔注〕電源入力時および、終了／リセット時にはこのモードになります。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＳＥＬ      ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
3 Ｆ： ４               Ｏ０００２          Ｆ：ファイルの数
4 Ｒ： ２２２．４Ｍ      ５４３２．ＮＣ      Ｒ：残りディスク量
```

1－1 ファイルをカーソルキーで選択して出力する

① ファンクションの選択： [OUT]アウトキーを押してください。
ファイル選択モードになります。

② データファイルの選択： [▲][▼] カーソールキーにてファイルを選択してください。

③ ファイルの確定： 出力するファイルを確定します。[SET]セットキーを押してくだい。

3行目にファイルの日付とサイズが表示されます。
4行目に選択されたファイルの先頭1行の内容が表示されます。

表示されているブロックデータの内容は、カーソールキーを上下する事によって確認できます。
表示可能な行数は、10Kバイト（1万文字）までです。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＳＴＯＰ  Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ０９／１０／０８      ９０８２            ← 日付    サイズ
4 %                                         ← ブロックデータ
```

〔注〕ファイルの変更を行う場合は、 [RESET]リセットキーを押してください。 ファイル選択の状態に戻ります。

④ 出力開始: START スタートキーでデータ出力待機状態となります。(通常)
(パラメータ:NO.12・・・1 の場合　スタートキーを押すとすぐにデータ出力します。)

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＲＵＮ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ００００００００      ００００９０８２    ← 出力データ量    データサイズ
4 ■
```

NCからのスタート信号(NCの読込操作をする)を受信するとデータを出力開始します。
その時、3行目と4行目に出力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＲＵＮ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ００００２０４８      ００００２０４８    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＞                                        ← 出力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は出力データが2048以上で表示します。

⑤ 出力終了: データ出力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＥＮＤ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ００００９０８２      ００００９０８２    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＊＊＊＊＊＊＊  ＥＮＤ    ＊＊＊＊＊＊＊    ← 出力終了を示すインジケータ
```

RESET リセットキーを押してください。ファイル選択状態になります。

１－２ ファイル名を直接入力して出力する

① ファンクションの選択: OUT アウトキーを押してください。
ファイル選択モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＳＥＬ      ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
3 Ｆ：　４              Ｏ０００２
4 Ｒ：　２２２．４Ｍ    ５４３２．ＮＣ
```

② [↵]リターンキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 ■
3
4
```

③ ファイル名を入力して下さい。
例えば、OOOO2の場合

[5 MNO]のキーを押します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 5■
3
4
```

次に[ALP]アルファベットキーを5回押します。
すると表示が、 5→M→m→N→n→O と変化します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 O■
3
4
```

続けて
[0 _:.] [0 _:.] [0 _:.] [2 VWX] と押します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 ＯＯＯＯ２■
3
4
```

次に[↵]リターンキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＳＴＯＰ  Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００２
3 ０９／１０／１０      ９１０８６          ← 日付    サイズ
4 %                                        ← ブロックデータ
```

④ 出力開始： [START]スタートキーでデータ出力待機状態となります。（通常）
（パラメータ:NO.12・・・1 の場合　スタートキーを押すとすぐにデータ出力します。）

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＲＵＮ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００２
3 ０００００００      ０００９１０８６    ← 出力データ量    データサイズ
4 ■
```

NCからのスタート信号(NCの読込操作をする)を受信するとデータを出力開始します。

その時、3行目と4行目に出力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＲＵＮ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００２
3 ００００２０４８      ０００９１０８６    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＞                                       ← 出力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は出力データが2048以上で表示します。

⑤ 出力終了： データ出力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＥＮＤ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ０００９１０８６      ０００９１０８６    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＊＊＊＊＊＊＊  ＥＮＤ   ＊＊＊＊＊＊＊    ← 出力終了を示すインジケータ
```

[RESET]リセットキーを押してください。ファイル選択状態になります。

１－３　複数プログラムの出力

指定されたディレクトリの中のすべてのファイルを出力する。

ＮＣ機器でオール入力の機能等がある場合に利用して下さい。

＜画面表示＞

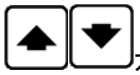
```
    1              10              20 桁
１ ＯＵＴ    ＳＥＬ      ＞１２３４
２ ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
３ Ｆ：４                Ｏ０００２          Ｆ：ファイルの数
４ Ｒ：２２２．４Ｍ      ５４３２．ＮＣ      Ｒ：残りディスク量
```

① ファンクションの選択：

アウトキーを押してください。

ファイル選択モードになります。

② [ALL]を選択：

 カーソルキーで　＞マークを[ALL]の位置まで移動して下さい。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
１ ＯＵＴ    ＳＥＬ      Ｏ０００１
２ ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００２
３ Ｆ：４                ５４３２．ＮＣ
４ Ｒ：２２２．４Ｍ    ＞［ＡＬＬ］
```

③

セットキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
１ ＯＵＴ    ＳＴＯＰ     Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
２ ＤＡＴＡ－１             ＡＬＬ　ＯＵＴ
３
４
```

④ 出力開始：

スタートキーでデータ出力待機状態となります。（通常）

（パラメータ:NO.12・・・1 の場合　スタートキーを押すとすぐにデータ出力します。）

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
１ ＯＵＴ    ＲＵＮ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
２ ＤＡＴＡ－１          １２３４              ← 現在のファイル
３ ００００００００      ００００１５５３７    ←出力データ量
４ ■
```

NCからのスタート信号(NCの読込操作をする)を受信するとデータを出力開始します。

その時、3行目と4行目に出力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＲＵＮ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ００００２０４８      ０００１５５３７    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＞                                        ← 出力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は出力データが2048以上で表示します。

⑤ 出力終了: データ出力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＥＮＤ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ８８８８
3 ００００９１０８６     ０００１５５３７    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＊＊＊＊＊＊＊  ＥＮＤ   ＊＊＊＊＊＊＊    ← 出力終了を示すインジケータ
```

RESETリセットキーを押してください。ファイル選択状態になります。

操作２：　データの入力

指定されたディレクトリの指定されたファイルにNC制御機からのデータを書き込みます。

２－１　単一プログラムの入力

新規ファイルの場合

① ファンクションの選択：

インキーを押してください。

入力モードになり、ファイル選択モードになります。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＥＬ     ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ０００１
3 Ｆ：４              Ｏ０００２
4 Ｒ：２２２．４Ｍ    ５４３２．ＮＣ
```

② ファイル名の直接入力：
リターンキーを押してください。

ファイル名の直接入力モードになります。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 ■
3
4
```

③ ファイル名を入力して下さい。

例えば、O2000の場合

のキーを押します。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 ５■
3
4
```

次に[ALP]アルファベットキーを5回押します。

すると表示が、 5→M→m→N→n→O と変化します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 O
3
4
```

続けて

[2 VWX] [0 _:.] [0 _:.] [0 _:.] と押します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 Ｏ２０００
3
4
```

次に[↵]リターンキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ　　ＳＴＯＰ　Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１　　Ｏ２０００　　← 現在のフォルダ　ファイル名
3　　Ｎｅｗ Ｆｉｌｅ
4
```

④ 入力開始: [START]スタートキーでデータ入力待機状態となります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ　　ＲＵＮ　　Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ　　← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１　　Ｏ２０００　　← 現在のフォルダ　ファイル名
3 ００００００００　　Ｎｅｗ Ｆｉｌｅ
4
```

⑤ NCからプログラムを出力して下さい。

データを受信しますと3行目と4行目に入力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＲＵＮ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ２０００          ← 現在のフォルダ　ファイル名
3 ００００２０４８      Ｎｅｗ Ｆｉｌｅ     ← 入力データ量
4 ＞                                   ← 入力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は入力データが2048以上で表示します。

⑥ 入力終了： データ入力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＥＮＤ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ２０００          ← 現在のフォルダ　ファイル名
3 ００００２５１３      Ｎｅｗ Ｆｉｌｅ     ← 入力データ量
4 ＊＊＊＊＊＊＊ ＥＮＤ  ＊＊＊＊＊＊＊   ← 入力終了を示すインジケータ
```

RESETリセットキーを押してください。OUTモードのファイル選択状態になります。

２－２ 単一プログラムの入力

既存ファイルを選択する場合

① ファンクションの選択： IN インキーを押してください。

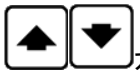
入力モードになり、ファイル選択モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＥＬ     ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ０００１
3 Ｆ： ４             Ｏ０００２
4 Ｒ： ２２２．４Ｍ     ５４３２．ＮＣ
```

② ファイルの選択:

例えば、O0002の場合

 カーソルキーで ＞マークをO0002の位置まで移動して下さい。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 ＩＮ      ＳＥＬ        １２３４
2 ＤＡＴＡ－１            Ｏ０００１
3 Ｆ： ４               ＞ Ｏ０００２
4 Ｒ： ２２２．４Ｍ       ５４３２．ＮＣ
```

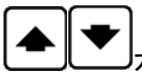
③ ファイルの確定: 入力するファイル名を確定します。 セットキーを押して下さい。

既存ファイルを選択した場合、データを上書き入力して問題ないかどうかを再確認する
「**Overwrite? Yes/No**」という確認画面が表示されます。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ      ＳＴＯＰ  Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１            Ｏ０００２   ← 選択したファイル名
3
4 Overwrite?       [Yes]     No
```

確認後、実行してよければ Yes、戻る場合は No を選択します。

Yes/No の選択は  カーソルキーで選択し、 リターンキーで
決定します。

またはテンキー, Yes: / No: で選択します

[Yes]を選択すると、3行目に決定したファイルの日付とサイズが表示されます。
4行目に選択されたファイルの先頭2行の内容が表示されます。
表示されているブロックデータの内容は、カーソールキーを上下する事によって確認できます。
表示可能な行数は、10Kバイト（1万文字）までです。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ      ＳＴＯＰ  Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ     ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１            Ｏ０００２
3 ０９／１０／１０        ０００９１０８６   ← 日付   サイズ
4 %                                        ← ブロックデータ
```

〔注〕ファイルの変更を行う場合は、RESETリセットキーを押してください。
ファイル選択の状態に戻ります。

④ 入力開始: STARTスタートキーでデータ入力待機状態となります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＲＵＮ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ     ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ０００２         ← 現在のフォルダ   ファイル名
3 ０００００００      ００００９１０８６  ←                 元サイズ
4 ■
```

⑤ NCからプログラムを出力して下さい。
データを受信しますと3行目と4行目に入力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＲＵＮ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ     ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ０００２         ← 現在のフォルダ   ファイル名
3 ０００２０４８      ００００９１０８６  ← 入力データ量     元サイズ
4 ＞                                  ← 入力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は入力データが2048以上で表示します。

⑥ 入力終了: データ入力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＥＮＤ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ０００２         ← 現在のフォルダ   ファイル名
3 ０００２５１３      ００００９１０８６  ← 入力データ量     元サイズ
4 ＊＊＊＊＊＊＊ ＥＮＤ  ＊＊＊＊＊＊＊  ← 入力終了を示すインジケータ
```

RESETリセットキーを押してください。OUTモードのファイル選択状態になります。

2－3 複数プログラムの入力

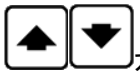
NC機器からオールパンチ等で複数プログラムを出力されるデータをO番号ごとのファイル名で保存する場合などに使用して下さい。

① ファンクションの選択: INインキーを押してください。
入力モードになり、ファイル選択モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＥＬ     ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
3 Ｆ：４                Ｏ０００２
4 Ｒ：２２２．４Ｍ      ５４３２．ＮＣ
```

② [ALL]を選択:


カーソルキーで ＞マークを[ALL]の位置まで移動して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＥＬ          Ｏ０００１
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００２
3 Ｆ：４                ５４３２．ＮＣ
4 Ｒ：２２２．４Ｍ    ＞［ＡＬＬ］
```

③
セットキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＴＯＰ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１              ＡＬＬ　ＩＮ
3
4
```

④ 入力開始:
スタートキーでデータ入力待機状態となります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＲＵＮ     Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          ＡＬＬ　ＩＮ          ← 現在のフォルダ
3 ０                                          ←入力データ量
4 ■
```

⑤ NCからプログラムを出力して下さい。
データを受信しますと3行目と4行目に入力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＲＵＮ     Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１              Ｏ０００５      ← 現在入力中のＯ番号
3 ００００８７８６５                        ← 入力データ量
4 ＞＞          ← 入力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は入力データが2048以上で表示します。

⑥ 入力終了: データ入力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＥＮＤ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ８８９９        ← 現在のフォルダ   ファイル名
3 ０１８９３５６８                     ← 入力データ量
4 ＊＊＊＊＊＊＊ ＥＮＤ  ＊＊＊＊＊＊＊  ← 入力終了を示すインジケータ
```

RESETリセットキーを押してください。OUTモードのファイル選択状態になります。

※登録されるファイル名はNC機器より出力されたそのままの名前です。
例えば、O0010はO0010、O10はO10です。8桁のO番号は保存できません。又、同じO番号のファイルがある時は上書きしますので御注意してください。

操作3： ファイルのコピー

指定されたデータファイルを、指定されたディレクトリへコピーします。

3－1　1個のファイルのコピー（同じ名前でコピーの時）

例えば、ディレクトリ1（画面表示名 DATA-1）のO0001のファイルを
ディレクトリ2（画面表示名 DATA-2）へ同じ名前でコピーする場合。

① ファンクションの選択： COPY コピーキーを押してください。

コピーモードになり、コピー元のディレクトリおよびデータファイルの選択モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ１　＞１２３４
2 ＊ＤＡＴＡ－１　　Ｏ０００１
3　　　　　　　　Ｏ０００２
4　　　　　　　　５４３２．ＮＣ
```

② ファイルの選択：

例えば、O0001の場合

▲ ▼ カーソルキーで ＞マークをO0001の位置まで移動して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ１　　１２３４
2 ＊ＤＡＴＡ－１　　＞Ｏ０００１
3　　　　　　　　Ｏ０００２
4　　　　　　　　５４３２．ＮＣ
```

③　ファイルの確定：

SET セットキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ２　＞１２３４
2　ＤＡＴＡ－１　　Ｏ０００１
3 ＊ＤＡＴＡ－１　　Ｏ０００２
4　　　　　　　　５４３２．ＮＣ
```

④ コピー先ディレクトリへの変更:
画面には現在選択されているディレクトリが表示されます。(最大10文字)

ディレクトリを変更するときは、[DIR]ディアイアールキーにてディレクトリ選択モードにして、DIR番号のテンキーを押してディレクトリを選択してください。

❑ DIR 番号
0　　USB メモリ
1～9　データ用ディレクトリ［DIR1］～［DIR9］の DIR 番号

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 COPY  DRV       P:DEFAULT
2
3 Drive No.?   ( 0 - 9 )
4
```

ディレクトリ2へコピーしますので、[2 VWX]のキーを押して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 COPY  SEL2    >Not Found
2  DATA-1
3 *DATA-2
4
```

⑤ コピー先の名前の確定(ここではコピー元とコピー先の名前は同じ場合)

[↵]リターンキーを押してください。
ファイル名の直接入力モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Input file name:
2 ■
3
4
```

⑥ [↵]リターンキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＴＯＰ     Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2　 ＤＡＴＡ－１          ００００１      ←　コピー元 DIR とファイル名
3　 ＤＡＴＡ－２          ００００１      ←　コピー先 DIR とファイル名
4
```

⑦ コピー開始：［START］スタートキーでコピーを開始します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＲＵＮ       Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2　 ＤＡＴＡ－１          ００００１
3　 ＤＡＴＡ－２          ００００１
4
```

⑧ コピー終了：コピーが終了すると以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＥＮＤ       Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2　 ＤＡＴＡ－１          ００００１
3　 ＤＡＴＡ－２          ００００１
4 ＊＊＊＊＊＊＊　ＥＮＤ　＊＊＊＊＊＊＊
```

⑨ ［RESET］リセットキーを押してください。「OUT モード」になります。

〔注〕同じディレクトリ内に同じ名前のファイルをコピーすることは出来ません。この場合、**#17:Copy Disable[27]**：コピー不可　のアラームが発生します。

［RESET］リセットキーでファイル選択場面に戻ります。

３－２　1個のファイルのコピー（違う名前でコピーの時）

例えば、ディレクトリ1（画面表示名 DATA-1）のＯＯＯＯ１のファイルを
ディレクトリ2（画面表示名 DATA-2）へＯＯＯ１０でコピーする場合。

① ファンクションの選択：［COPY］コピーキーを押してください。

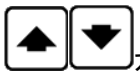
コピーモードになり、コピー元のディレクトリおよびデータファイルの選択モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ１　＞１２３４
2 ＊ＤＡＴＡ－１　　Ｏ０００１
3　　　　　　　　　Ｏ０００２
4　　　　　　　　　５４３２．ＮＣ
```

② ファイルの選択:

例えば、O0001の場合

 カーソルキーで ＞マークをO0001の位置まで移動して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ１　　１２３４
2 ＊ＤＡＴＡ－１　　＞Ｏ０００１
3　　　　　　　　　Ｏ０００２
4　　　　　　　　　５４３２．ＮＣ
```

③ ファイルの確定：

セットキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ２　　＞１２３４
2　ＤＡＴＡ－１　　Ｏ０００１
3 ＊ＤＡＴＡ－１　　Ｏ０００２
4　　　　　　　　　５４３２．ＮＣ
```

④ コピー先ディレクトリへの変更:

画面には現在選択されているディレクトリが表示されます。（最大10文字）

ディレクトリを変更するときは、 ディアイアールキーにてディレクトリ選択モードにして、DIR番号のテンキーを押してディレクトリを選択してください。

- ❑ DIR 番号

0　　USB メモリ

1～9　データ用ディレクトリ［DIR1］～［DIR9］の DIR 番号

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＤＲＶ　　Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2
3 Ｄｒｉｖｅ　Ｎｏ．？　（　０　－　９　）
4
```

ディレクトリ2へコピーしますので、[2 VWX]のキーを押して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ２　　＞Ｎｏｔ　Ｆｏｕｎｄ
2　 ＤＡＴＡ－１
3 ＊ＤＡＴＡ－２
4
```

⑤ コピー先の名前の確定（ここではコピー先の名前はO0010）

[↵]リターンキーを押してください。

ファイル名の直接入力モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 ■
3
4
```

⑥ 名前の入力

[5 MNO]のキーを押します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 5■
3
4
```

次に[ALP]アルファベットキーを5回押します。
すると表示が、 5→M→m→N→n→O と変化します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 O■
3
4
```

続けて

[0] [0] [1 STU] [0] と押します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Input  file  name:
2 O0010
3
4
```

次に[↵]リターンキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 COPY  STOP    P:DEFAULT
2   DATA－1        O0001     ←  コピー元 DIR とファイル名
3   DATA－2        O0010     ←  コピー先 DIR とファイル名
4
```

⑦ コピー開始: [START]スタートキーでコピーを開始します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 COPY  RUN     P:DEFAULT
2   DATA－1        O0001
3   DATA－2        O0010
4
```

⑧ コピー終了: コピーが終了すると以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 COPY  END     P:DEFAULT
2   DATA－1        O0001
3   DATA－2        O0010
4 *******  END   *******
```

名前入力の時に既存ファイルを選択した場合、データを上書き保存して
問題ないかどうかを再確認する「Overwrite? Yes/No」という
確認画面が表示されます。

＜画面表示＞

```
   1              10                  20 桁
1 ＣＯＰＹ      ＳＴＯＰ  Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１          ＯＯＯＯ１
3 ＤＡＴＡ－２          ＯＯＯ１０
4 Overwrite?       [Yes]     No
```

確認後、実行してよければ Yes、戻る場合は No を選択します。

Yes/No の選択は カーソルキーで選択し、 リターンキーで決定します。

またはテンキー, Yes: / No: で選択します

⑨ リセットキーを押してください。「OUT モード」になります。

3－3 ALLコピー （ディレクトリにあるファイルをすべてコピーする）

例えば、USB（ディレクトリ0）にあるファイルをすべて
ディレクトリ3（画面表示名 DATA－3）へコピーする。
この時、同じ名前のファイルがあっても強制的に上書きしますので
ご注意して下さい。

① ファンクションの選択: コピーキーを押してください。

コピーモードになり、コピー元のディレクトリおよびデータファイルの選択モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10                  20 桁
1 ＣＯＰＹ  ＳＥＬ１    ＞１２３４
2 ＊ＤＡＴＡ－１        ＯＯＯＯ１
3                      ＯＯＯＯ２
4                      ５４３２．ＮＣ
```

② コピー元ディレクトリへの変更:

画面には現在選択されているディレクトリが表示されます。（最大10文字）

ディレクトリを変更するときは、 ディアイアールキーにてディレクトリ選択モードにして、DIR 番号のテンキーを押してディレクトリを選択してください。

❑ DIR 番号

0　　USB メモリ

1～9　データ用ディレクトリ［DIR1］～［DIR9］の DIR 番号

＜画面表示＞

```
   1              10                  20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＤＲＶ　　Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2
3 Ｄｒｉｖｅ　Ｎｏ．？　（　０　－　９　）
4
```

USB（ディレクトリ0）からコピーしますので、[0 —:.] のキーを押して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10                  20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ１　　＞Ｏ１１２０
2 ＊ＵＳＢ　　　　　　Ｏ２５００
3　　　　　　　　　　Ｏ３１２０
4　　　　　　　　　　Ｏ３３００
```

③ ［ALL］を選択：

[▲][▼]カーソルキーで ＞マークを［ALL］の位置まで移動して下さい。

＜画面表示＞

```
    1              10                  20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ１　　Ｏ４５００
2 ＊ＵＳＢ　　　　　　Ｏ５５００
3　　　　　　　　　　３１２０．ＤＡＴ
4　　　　　　　　　＞［ＡＬＬ］
```

④ [SET]セットキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10                  20 桁
1 ＣＯＰＹ　ＳＥＬ２　　＞Ｏ１１２０
2　ＵＳＢ　　　　　　Ｏ２５００
3 ＊ＵＳＢ　　　　　　Ｏ３１２０
4　　　　　　　　　　Ｏ３３００
```

⑤ コピー先ディレクトリへの変更:

画面には現在選択されているディレクトリが表示されます。(最大10文字)

ディレクトリを変更するときは、[DIR]ディアイアールキーにてディレクトリ選択モードにして、DIR番号のテンキーを押してディレクトリを選択してください。

❑ DIR 番号

0　　USB メモリ

1～9　データ用ディレクトリ［DIR1］～［DIR9］の DIR 番号

＜画面表示＞

```
   1              10                20 桁
1 COPY  DRV        P:DEFAULT
2
3 Drive No.?     ( 0 - 9 )
4
```

ディレクトリ3へコピーしますので、[3 YZ\] のキーを押して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10                20 桁
1 COPY  SEL2     >O0200
2  USB             O0301
3 *DATA-3          O0335
4                  O1100
```

⑥ [SET]セットキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10                20 桁
1 COPY  STOP     P:DEFAULT
2  USB              ALL  COPY
3  DATA-3
4
```

⑦ コピー開始: START スタートキーでコピーを開始します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 COPY  RUN     P:DEFAULT
2  USB             ALL  COPY
3  DATA－3
4
```

⑧ コピー終了: コピーが終了すると以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 COPY  END     P:DEFAULT
2  USB             ALL  COPY
3  DATA－3
4 ******* END   *******
```

⑨ RESET リセットキーを押してください。「OUT モード」になります。

操作４：　ファイルの消去

指定されたディレクトリの指定されたファイルを削除します。

４－１　１個のファイルの削除

例えば、ディレクトリ１(面表示名 DATA-1)の５４３２．ＮＣの
ファイルを削除する場合。

① ファンクションの選択：DEL キーを押してください。

ファイル消去モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ　 ＳＥＬ      ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
3                       Ｏ０００２
4                       ５４３２．ＮＣ
```

② ファイルの選択：

カーソルキーで ＞マークを5432．NCの位置まで移動して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ　 ＳＥＬ        １２３４
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
3                       Ｏ０００２
4                     ＞５４３２．ＮＣ
```

③ ファイルの確定：出力するファイルを確定します。SET セットキーを押してくだい。

3行目にファイルの日付とサイズが表示されます。
4行目に選択されたファイルの先頭1行の内容が表示されます。
表示されているブロックデータの内容は、カーソールキーを上下する事によって確認できます。表示可能な行数は、10Kバイト(1万文字)までです。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ　 ＳＴＯＰ　Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          ５４３２．ＮＣ
3 ０９／１０／０８      ２２４３            ← 日付　サイズ
4 %                                         ← ブロックデータ
```

〔注〕ファイルの変更を行う場合は、RESETリセットキーを押してください。ファイル選択の状態に戻ります。

④ 消去の確認と実行: STARTスタートキーによって実行します。

消去前に確認メッセージが出ます。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ    ＳＴＯＰ   Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１          ５４３２．ＮＣ
3 ０９／１０／０８      ２２４３
4 Sure?     [Yes]     No
```

確認後、実行してよければ Yes、戻る場合は No を選択します。

Yes/No の選択は▲▼カーソルキーで選択し、↵リターンキーで決定します。

またはテンキー, Yes: 1 STU / No: 2 VWXで選択します

Yesを選択して消去の実行が終了すると、以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ    ＥＮＤ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－１          ５４３２．ＮＣ
3 ０９／１０／０８      ２２４３
4 ＊＊＊＊＊＊＊  ＥＮＤ   ＊＊＊＊＊＊＊   ← 消去終了表示
```

⑤ 終了: RESETキーを押してください。「OUTモード」になります

4－2 ALL削除

例えば、フォルダ2(画面表示 DATA-2)の中のファイルをすべて削除する場合。

① ファンクションの選択：DELキーを押してください。

ファイル消去モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ    ＳＥＬ      ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
3                       Ｏ０００２
4                       ５４３２．ＮＣ
```

② 削除するディレクトリへの変更:

画面には現在選択されているディレクトリが表示されます。(最大10文字)

ディレクトリを変更するときは、[DIR]ディアイアールキーにてディレクトリ選択モードにして、DIR番号のテンキーを押してディレクトリを選択してください。

❑ DIR 番号

0　　USB メモリ

1～9　データ用ディレクトリ［DIR1］～［DIR9］の DIR 番号

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ    ＤＲＶ        Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2
3 Ｄｒｉｖｅ　Ｎｏ．？　（　０　－　９　）
4
```

ディレクトリ2へ移動しますので、[2 VWX]のキーを押して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ    ＳＥＬ      ＞Ｏ６６７０
2 ＤＡＴＡ－２          Ｏ７７１０
3                       Ｏ７８９０
4                       Ｏ８８００
```

③ ［ALL］を選択:

[▲][▼]カーソルキーで ＞マークを［ALL］の位置まで移動して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ    ＳＥＬ        Ｏ７７１０
2 ＤＡＴＡ－２          Ｏ７８９０
3                       Ｏ８８００
4                     ＞［ＡＬＬ］
```

④ 消去の確認と実行: [SET]セットキーによって実行します。

消去前に確認メッセージが出ます。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ　 ＳＥＬ          Ｏ７７１０
2 ＤＡＴＡ－２             Ｏ７８９０
3                          Ｏ３１２０
4 ＤＥＬ　ＡＬＬ？　　[Yes]　 No
```

確認後、実行してよければ Yes、戻る場合は No を選択します。

Yes/No の選択は[▲][▼]カーソルキーで選択し、[↵]リターンキーで決定します。

またはテンキー, Yes: [1 STU] / No: [2 VWX]で選択します

Yesを選択すると再度確認の為、以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ　 ＳＴＯＰ　Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－２          ＡＬＬ　ＤＥＬ
3
4
```

中止する場合、[RESET]リセットキーを押してください。「DELモード」に戻ります。

⑤ 再度確認と実行: [START]スタートキーによって実行します。

消去前に確認メッセージが出ます。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ　 ＳＴＯＰ　Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－２          ＡＬＬ　ＤＥＬ
3
4 Sure?                [Yes]　 No
```

確認後、実行してよければ Yes、戻る場合は No を選択します。

Yes/No の選択は[▲][▼]カーソルキーで選択し、[↵]リターンキーで決定します。

またはテンキー, Yes: [1 STU] / No: [2 VWX]で選択します

Yesを選択して消去の実行が終了すると、以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＤＥＬ    ＥＮＤ    Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＤＡＴＡ－２          ＡＬＬ　ＤＥＬ
3
4 ＊＊＊＊＊＊＊　ＥＮＤ　　＊＊＊＊＊＊＊　　←　消去終了表示
```

⑥ 終了: [RESET]キーを押してください。「OUTモード」になります

操作5: ファイルの並び替え

指定されたディレクトリ内でNCデータファイルの表示する順番を並び替えます。
数字、アルファベットの順に、「降順・昇順・元に戻す」ことが出来ます。

手順

① [OUT]アウトキーまたは[IN]インキーでファイル選択画面を表示します。

② ファイルの並び替え: テンキーを使って並び順を選択します。

[1 STU] : 昇順 （数字0－9 → アルファベットA－Z）

[2 VWX] : 降順 （アルファベットZ－A → 数字9－0）

[3 YZ\] : 元に戻す （元のファイル順に戻します）

＊ ファイル表示は、環状にスクロールされます。

（[▲][▼]カーソルキーでファイルの最下段まで降りていくと、先頭のファイルに戻るようになっています。）

操作6： パラメータ値の変更（各項目の詳細は後述のパラメータの項目を参照してください）

パラメータデータの編集作業を行います。

① ファンクションの選択： PRM パラメータキーを押してください。

パラメータ設定モードになり、パラメータファイルの選択画面になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＰＲＭ    ＳＥＬ      ＞ＤＥＦＡＵＬＴ
2                        ＵＳＥＲ０９６
3                        ＵＳＥＲ１９２
4 Ver ４．１．３         ＵＳＥＲ３８４
```

※この時再下段の[NW]を選択すると、現在設定されているネットワーク状況を確認できます。

＞詳細は**（4）現在のネットワーク状況を確認する**を参照してください。

② ファイルの確定： ▲▼ カーソルキーにて変更する

パラメータファイルを選択してください。

SET セットキーを押してください。PRM ファイルが確定されます。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＰＲＭ    ＳＴＯＰ  Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2 ＞  ０  ＝  ＤＥＦＡＵＬＴ              ←  現在のカーソル位置
3     １  ＝  １
4     ２  ＝  ４８００
```

③ パラメータ番号の選択： ▲▼ カーソルキーにて編集するパラメータ番号を選択してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＰＲＭ    ＳＴＯＰ  Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2     ０  ＝  ＤＥＦＡＵＬＴ
3     １  ＝  １
4 ＞  ２  ＝  ４８００
```

④ パラメータの編集： 編集するパラメータにカーソルをあわせ

↵ リターンキーを押してください。

パラメータデータの入力モードになります。

❑ **データ入力モード**： データ入力モードには、以下の2つのモードがあります。

モード1　その場で入力
モード2　入力画面による入力（画面に Input parameter:と表示）

（1） モード1

選択したパラメータの行へ直接データを入力します。
現在の設定値が消え、その場にデータの入力を促す点滅カーソルが表示されます。

パラメータを入力して リターンキーで確定します。
パラメータはテンキーを使用して入力します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 PRM   STOP  P:DEFAULT
2    0  =  DEFAULT
3    1  =  1
4 >  2  =  ■
```

➢ 入力エラー

各パラメータに入力できる文字の種類（数値，英数文字），範囲，文字数などに制限があります。入力されたデータが制限にマッチしない場合には、アラーム表示「# 3:Incorrect」となります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 PRM   ALRM  P*DEFAULT
2    0  =  DEFAULT
3 >  1  =  3
4 #  3:Incorrect  [1]    ← アラーム表示
```

➢ 入力エラー（アラーム表示）からの復帰

リセットキーを押すとデータ編集モードへ戻ります。

データ編集モードへ戻ると、新たに入力された不正な値とエラーマーク「？」が表示されます。エラーマークの付いたパラメータがあるとセーブすることができません（アラーム表示となります）ので、エラーマークのついたパラメータは正しい値を入力し直してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 PRM   STOP  P*DEFAULT
2    0  =  DEFAULT
3 >  1  =?3          ← エラーマークと不正な値が表示されている
4    2  =  4800
```

（2） モード2

モード2では、入力画面に切り替わり、データの入力を促す点滅カーソルが表示されます。パラメータを入力して リターンキーで確定します。

パラメータはテンキーを使用して入力します。

＜画面表示＞

```
   1              10                  20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｐａｒａｍｅｔｅｒ：
2 ■
3
4
```

☞ 入力エラーについてはモード1と同じ扱いとなります。

□ **データ入力の中止**

リセットキーによってデータ入力モードがキャンセルされます。

⑤ データのセーブ:

スタートキーによって現在のパラメータ値をファイルにセーブします。
パラメータを変更した時には必ず行ってください。
パラメータに変更があった場合、1行目のパラメータ名の前に変更マーク「＊」が付きます。

（変更前） ＰＲＭ　 ＳＴＯＰ　Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
↓
（変更後） ＰＲＭ　 ＳＴＯＰ　Ｐ＊ＤＥＦＡＵＬＴ

ファイルへのセーブが完了すると終了画面が表示されます。

＜画面表示＞

```
   1              10                  20 桁
1 ＰＲＭ　 ＥＮＤ　 Ｐ：ＤＥＦＡＵＬＴ
2
3
4 ＊＊＊＊＊＊＊　ＥＮＤ　 ＊＊＊＊＊＊＊
```

⑥ パラメータ設定の終了:

リセットキーを押してください。
「OUT モード」に戻ります。

（3） パラメータの変更時の注意

パラメータファイルは複数使用することができ、それぞれにパラメータデータの変更が可能です。

パラメータの変更後は、必ず START スタートキーを押して変更を確定してください。

変更を確定せずに RESET リセットキーを押すと、変更内容がパラメータファイルへ反映されません。

最後に変更／確定されたパラメータファイルの内容が、次回の電源再投入時立ち上がりのパラメータ値となります。

（4） 現在のネットワーク状況を確認する

①パラメータファイル選択画面で、最下段の[NW]を選択し、SET セットキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10                20 桁
1 ＰＲＭ    ＳＥＬ       ＵＳＥＲ０９６
2                       ＵＳＥＲ１９２
3                       ＵＳＥＲ３８４
4                     ＞[NW]              ←  最下段
```

②現在のネットワーク状況が表示されます。

＜画面表示＞

```
   1              10                20 桁
1 ＮＷ：  Ｓｔａｔｉｃ
2 ＩＰ：  １９２．１６８．０．１００
3 ＮＭ：  ２５５．２５５．２５５．０
4 ＧＷ：
```

③ RESET リセットキーを押してください。 パラメータファイル選択画面に戻ります。

2. 特殊機能

2－1. サブプログラム出力

サブプログラム出力とは、メインプログラムの中にサブプログラム名を入れておくと、
データ出力時に指定されたサブプログラムの内容をあたかも自分のプログラムの
中に存在するデータであるかのように転送する機能です。
データ内に次の書式でサブプログラム名を記述した場合は、指定されたサブプログラムを送出します。
サブプログラムのネスト（階層呼び出し）も可能です。
サブプログラムは実行中のプログラムと同一のディレクトリにある必要があります。

＜書式＞

① M98P／プレフィックス[　　]
　キーワード: M98P
　M98Pの後に続く文字列を検索し、プログラムの内容を送出します。
　プレフィックスとは接頭語の意味で／の後にO等の文字を入力しますと
　M98Pの後に続く文字列の頭にOを付加したファイルを検索し、プログラムの
　内容を送出します。

② ＊－
　キーワード: ＊－
＊ －の後に続く文字列を検索し、プログラムの内容を送出します。

③ フリーワード:[　　]
　キーワード:サブプログラム識別キーワード（最大5文字）
　キーワードの後に続く文字列を検索し、プログラムの内容を送出します。

パラメータ番号 ＃22 で設定
工場出荷時は「*-」

サブプログラムのファイル名:同一ディレクトリ内のファイル名となります

- キーワードは必ずブロックの先頭にしてください。
- 呼び出されたサブプログラムの中の「M99，M02，M30，%」コードは無視されます。
  （「M99，M02，M30，%」のデータを含むブロックは送出されません）

例えば、キーワードの文字列が＊ーの場合でMAINというファイルを出力した場合。

MAIN（ファイル名）

```
%
*-1234
*-5678
*-ABCD
M30
%
```

（参照ファイル）

1234

```
%
1234
1234
M30
%
```

5678

```
%
5678
5678
M02
%
```

ABCD

```
%
ABCD
ABCD
M99
%
```

（出力データー）

```
%
1234
1234
5678
5678
ABCD
ABCD
M30
%
```

２－２．　オートリワインド

オートリワインド機能がONの場合、データ出力実行後の終了処理をせず、NCデータファイルのリワインドを行い、NCデータを再度出力可能な状態にします。

- データ出力終了後、次の「DC1」コードの入力待ち状態となります。
- NCからの「DC1」コードを受信後、データの先頭から出力を開始します。

3. ディレクトリパス名の設定

＜設定書式＞

DAT:[/]＜ディレクトリ名＞[/＜ディレクトリ名＞/...]
USB:[/]＜ディレクトリ名＞[/＜ディレクトリ名＞/...]
SMB://＜コンピュータ名＞/＜共有名＞[/＜ディレクトリ名＞/...]

- [ ] は省略可能な項目です
- 識別子「DAT:」は mametan の内蔵ドライブ、「USB:」はUSBメモリ、「SMB:」はネットワークドライブを表します。

＜内蔵ドライブのディレクトリ＞

DAT:[/]＜ディレクトリ名＞[/＜ディレクトリ名＞/...]

- ディレクトリとディレクトリの区切り記号は「/」(スラッシュ)になります
- 先頭の「/」は省略可能です

（設定例）
DAT:DATA1
DAT:DATA1/TEST
DAT:/ DATA1

＜USBメモリのディレクトリ＞

USB:[/]＜ディレクトリ名＞[/＜ディレクトリ名＞/...]

- ディレクトリとディレクトリの区切り記号は「/」(スラッシュ)になります
- 先頭の「/」は省略可能です

（設定例）
USB:DATA
USB:DATA/TEST
USB:/DATA

＜ネットワークドライブのディレクトリ＞

SMB://＜コンピュータ名＞/＜共有名＞[/＜ディレクトリ名＞/...]

- 区切り記号は「/」(スラッシュ)になります
- 先頭は「//」となり省略できません
- ＜コンピュータ名＞および＜共有名＞は省略できません

（設定例）
SMB://DNC/C
SMB://DNC/C/DATA

4. USBメモリ

（1） USBメモリのルートディレクトリの選択

USBメモリのルートディレクトリへ対して読み込み／書き込みを行うのであれば、
特別な設定は必要ありません。

ファイル選択モードの時に、[DIR]ディアイアールキーを押すとディレクトリ選択モードとなり、この時にテンキー「0」を押すことによって、USBメモリのルートディレクトリへアクセスすることが可能になります。

（2） USBメモリ内のサブディレクトリの選択

USBメモリ内のサブディレクトリに対して読み込み／書き込みを行いたい場合（USBメモリ内のサブディレクトリにNCデータが保存されている時など）は、パラメータ番号　＃41～＃49　のディレクトリパス名へアクセスしたいUSBメモリ内のサブディレクトリを設定する必要があります。

（設定例）
USB:DATA
USB:DATA/TEST

☞　設定の方法については「**3. ディレクトリパス名の設定**」を参照してください

設定後は、ディレクトリ選択モードでUSBメモリ内のサブディレクトリを登録した DIR 番号を選択することで読み込み／書き込みが行えるようになります。

※USBメモリの種類によっては、USBメモリを途中で交換する際に（別の種類のものに差し替える時）電源の再起動が必要になる場合があります。

５．アラーム状態

エラーが発生したときにはアラーム状態となります。
アラーム状態では、現在の処理を中止して RESET キーが押されるまで待機します。
アラーム状態が解除される（RESET キーが押された）と、特別な場合を除き「OUTモード」へ戻ります。

５－１．アラーム表示： ０

システム関する異常です。
これらの異常発生の原因を修正してから再度システムを立ち上げてください。

番号	メッセージ	内容
1	System Error	システムエラー [1]　設定が未定義 [2]　無効な動作モード [24] コマンドラインオプションのエラー [25] 優先順位の変更に失敗 [63] 予期せぬエラー
2	No Memory	メモリ異常 [3]　メモリ不足（バッファ割り当て） [4]　メモリ不足（文字列の割り当て）
3	Incorrect	パラメータ異常 [23] パラメータの記述ミス

注） System Error (63)について
このアラームは mametan が採用しているオペレーションシステム（OS）の“LINUX”
カーネルが表示するアラームです。ＬＩＮＵＸはマルチタスク用のＯＳで
色々なジョブ（機能）が同時に動作しています。
ごく希にこれらのジョブの負荷が大きく限度を超えた場合に発生
する場合があります。
＊ System Error (63)が発生した場合必ず電源の再投入をしてください。

５－２．　アラーム表示：　１

内蔵フラッシュディスクおよびファイルに関する異常です。

アラームの解除は RESET キーで行ってください。

処理を実行中に以下のアラームが発生した場合は、以後の処理は中止されます。

番号	メッセージ	内容
１１	Disk Full	[5]　ディスクに空きがない
１２	No Media	[7]　USB メモリが挿入されていない
１３	SMB Error	[8]　ネットワークドライブへ接続できない
１４	Disk Error	[6]　リマウントできない [9]　ディスクの異常
１５	File Error	[10]　ディレクトリを開けなかった [11]　ディレクトリの読み込み異常 [12]　ディレクトリを変更できなかった [14]　ファイルを開けなかった [15]　ファイルのマッピングエラー [16]　ファイルの状態が読み込めなかった [17]　通常のファイルではない [32]　書き込みエラー
１６	Not Found	[13]　ファイルが見つからない
１７	Copy Disable	[27]　許可されていないコピー処理

５－３．　アラーム表示：　２

RS232C通信に関する異常です。

アラームの解除は RESET キーで行ってください。

処理を実行中に以下のアラームが発生した場合は、以後の処理は中止されます。

番号	メッセージ	内容
２１	DSR Drop	[20]　DSR が“L”
２２	NC Error	[21]　サブプログラム呼出キーワードが空 [22]　データブロックの異常 [28]　入力文字異常 [29]　デコードエラー [30]　バッファメモリ内に不正な文字 [31]　バッファメモリ内の異常
２３	RS232 Error	[18]　シリアルデバイスがオープンできない [19]　RS232 の設定値異常 [26]　フロー制御の設定エラー

6. パラメータ

0	表示用ﾊﾟﾗﾒｰﾀ	DEFAULT	DEFAULT.USER9600.19200.38400
1	COM ﾎﾟｰﾄ	1	1 = COM1
2	ﾎﾞｰﾚｰﾄ	4800	1200～38400
3	ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ	2	1 = 1 ﾋﾞｯﾄ 2 = 2 ﾋﾞｯﾄ
4	ｷｬﾗｸﾀ長	8	7 = 7 ﾋﾞｯﾄ 8 = 8 ﾋﾞｯﾄ
5	ﾊﾟﾘﾃｨ	0	0 = なし 1 = 奇数 2 = 偶数
6	文字ｺｰﾄﾞ	1	1 = ISO 2 = EIA 3 = ASCII
7	DC1 ｷｬﾗｸﾀｺｰﾄﾞ	11	11H
8	DC2 ｷｬﾗｸﾀｺｰﾄﾞ	12	12H
9	DC3 ｷｬﾗｸﾀｺｰﾄﾞ	93	13H 93H
10	DC4 ｷｬﾗｸﾀｺｰﾄ	14	14H
11	NULL の挿入	0	0 = NULL を挿入しない 1 = 挿入する 2 = NULL をﾃﾞｰﾀの先頭と末尾に 10 文字ずつ挿入する
12	出力時 DC1 待ち	0	0 = DC1 を待つ 1 = DC1 を待たない
13	ACK ｷｬﾗｸﾀｺｰﾄﾞ	0	00～FF
14	送信開始ｲﾝﾀｰﾊﾞﾙ	0	0 2～
15	入力時 DC2 待ち	1	0 = DC2 を待つ 1 = DC2 を待たない
16	ｵｰﾄﾘﾜｲﾝﾄﾞ	0	0 = ｵｰﾄﾘﾜｲﾝﾄﾞしない 1 = ｵｰﾄﾘﾜｲﾝﾄﾞする
17	出力時 CTS による制御	0	0 = DC1/DC3 による制御 1 = CTS による制御
18	入力時 RTS による制御	1	0 = DC2/DC4 による制御 1 = RTS による制御
19	入力ﾌｧｲﾙﾏｰｸ	1	0 = DC2/DC4 でﾃﾞｰﾀを区切りﾌｧｲﾙを作成 1 = %でﾃﾞｰﾀを区切りﾌｧｲﾙを作成 2 = 区切りｺｰﾄﾞなしでﾌｧｲﾙを作成
20	通信ﾃﾞｨﾚｲ係数	50	ﾃﾞｰﾀ出力時のｷｬﾗｸﾀ単位のﾃﾞｨﾚｲﾀｲﾑ(未使用)
21	ﾃﾞｰﾀ拡張子	無	ﾃﾞｰﾀﾌｧｲﾙの拡張子
22	ｻﾌﾞﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ呼び出しｷｰﾜｰﾄﾞ	*-	ﾒｲﾝﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑから呼び出すﾌｧｲﾙのｷｰﾜｰﾄﾞ
23	DSR の無視	1	ﾃﾞｰﾀ入出力時、相手方の DSR を無視するように設定する 0 = DSR が” L” でｴﾗｰ 1 = DSR を無視
24	出力終了時 DC3 待ち	1	ﾃﾞｰﾀ出力終了時、NC からの DC3 を待って終了する 0 = DC3 を待つ 1 = DC3 を待たない
25	%出力のパターン	0	ﾃﾞｰﾀ出力時ﾃﾞｰﾀﾌｧｲﾙ内にある%の出力形式の処理 0 = 何もしない(そのまま) 1 = 出力ﾃﾞｰﾀの先頭に%を付加する 2 = 出力ﾃﾞｰﾀの終端に%を付加する 3 = 出力ﾃﾞｰﾀの先頭と終端に%を付加する

26 ﾘﾓｰﾄｺﾏﾝﾄﾞの開始と終了	28/A9	ﾘﾓ ｰﾄｺﾏﾝﾄﾞの開始と終了の文字列
27 予備		
28 ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ機能	1	mametan では機能しません 0 = 有効 1 = 無効
29 立ち上がり時のｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝﾓｰﾄﾞ	0	ｼｽﾃﾑ立ち上がり時のｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝﾓｰﾄﾞを選択する 0 = Normai(ﾉｰﾏﾙﾓｰﾄﾞ) 1 = Remote(ﾘﾓｰﾄﾓｰﾄﾞ)
30 立ち上がり時のﾄﾞﾗｲﾌﾞ	1	立ち上がり時のﾄﾞﾗｲﾌﾞ選択
31 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ表示名[DIR1]	DATA-1	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 1 のﾆｯｸﾈｰﾑ
32 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ表示名[DIR2]	DATA-2	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 2 のﾆｯｸﾈｰﾑ
33 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ表示名[DIR3]	DATA-3	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 3 のﾆｯｸﾈｰﾑ
34 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ表示名[DIR4]	DATA-4	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 4 のﾆｯｸﾈｰﾑ
35 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ表示名[DIR5]	DATA-5	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 5 のﾆｯｸﾈｰﾑ
36 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ表示名[DIR6]	DATA-6	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 6 のﾆｯｸﾈｰﾑ
37 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ表示名[DIR7]	DATA-7	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 7 のﾆｯｸﾈｰﾑ
38 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ表示名[DIR8]	DATA-8	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 8 のﾆｯｸﾈｰﾑ
39 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ表示名[DIR9]	DATA-9	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 9 のﾆｯｸﾈｰﾑ
40 予備		
41 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾊﾟｽ名[DIR1]	DAT:DATA1	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 1 の実際のﾊﾟｽ名
42 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾊﾟｽ名[DIR2]	DAT:DATA2	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 2 の実際のﾊﾟｽ名
43 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾊﾟｽ名[DIR3]	DAT:DATA3	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 3 の実際のﾊﾟｽ名
44 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾊﾟｽ名[DIR4]	DAT:DATA4	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 4 の実際のﾊﾟｽ名
45 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾊﾟｽ名[DIR5]	DAT:DATA5	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 5 の実際のﾊﾟｽ名
46 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾊﾟｽ名[DIR6]	DAT:DATA6	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 6 の実際のﾊﾟｽ名
47 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾊﾟｽ名[DIR7]	DAT:DATA7	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 7 の実際のﾊﾟｽ名

48 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾊﾟｽ名[DIR8]	DAT:DATA8	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 8 の実際のﾊﾟｽ名
49 ﾃﾞｨﾚｸﾄﾘﾊﾟｽ名[DIR9]	DAT:DATA9	DIR キーで呼び出すﾄﾞﾗｲﾌﾞ 9 の実際のﾊﾟｽ名
50 予備		
51 プロトコル B	B	B = プロトコル B M = MAZATROL T2M2 以降 T = MAZATROL T1M1 D = 三菱ｶｾｯﾄ
52 [MZ]応答ﾃﾞｰﾀ	00	00 = 通常 08 = ｶｾｯﾄB面
53 [MZ]返送ﾃﾞｰﾀのﾊﾟﾘﾃｨ	1	0 = なし 1 = ﾊﾟﾘﾃｨ付き
54 予備		
55 予備		
56 ﾈｯﾄﾜｰｸ設定の表示	1	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ番号#57-#61 の表示/非表示 0 = 表示しない 1 = 表示する
57 IP ｱﾄﾞﾚｽの取得方法	2	IP ｱﾄﾞﾚｽを自動(DHCP)/手動で取得 1 = 自動(DHCP)で取得する 2 = 手動で設定する
58 IP ｱﾄﾞﾚｽ	192.168.0.100	自局の IP ｱﾄﾞﾚｽの表示
59 ﾈｯﾄﾏｽｸ	255.255.255.0	
60 ｹﾞｰﾄｳｪｲ	空	ｹﾞｰﾄｳｪｲｻｰﾊﾞの IP ｱﾄﾞﾚｽの表示
61 ﾈｰﾑｻｰﾊﾞ	空	ﾈｰﾑｻｰﾊﾞの IP ｱﾄﾞﾚｽの表示

参考　MAZATROL 対話データー（CMT）の入出力方法

１．MAZATROL　T1、M1の場合

①　通信パラメータを選択する。MZ－T1M1を選択する。

＜画面表示＞

```
  1              10                20 桁
1 ＯＵＴ　　ＳＥＬ　　＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１　　　　Ｏ０００１
3 Ｆ：４　　　　　　Ｏ０００２　　　Ｆ：ファイルの数
4 Ｒ：２２２．４Ｍ　　５４３２．ＮＣ　　Ｒ：残りディスク量
```

ファンクションの選択：PRM パラメータキーを押してください。

パラメータ設定モードになり、パラメータファイルの選択画面になります。

＜画面表示＞

```
  1              10                20 桁
1 ＰＲＭ　　ＳＥＬ　　＞ＤＥＦＡＵＬＴ
2                　　ＵＳＥＲ０９６
3                　　ＵＳＥＲ１９２
4 Ver ４．５．８　　ＵＳＥＲ３８４　　Ｖｅｒ：ファームウェアのバージョン
```

②　ファイルの確定：▲▼カーソルキーにて変更する

MZ－T1M1ファイルを選択してください。

＜画面表示＞

```
  1              10                20 桁
1 ＰＲＭ　　ＳＥＬ　　＞ＭＺ－Ｔ１Ｍ１
2                　　ＭＺ－Ｔ２Ｍ２
3                　　ＤＥＦＡＵＬＴ
4 Ver ４．５．８　　ＵＳＥＲ０９６
```

SET セットキーを押してください。PRM ファイルが確定されます。

＜画面表示＞

```
  1              10                20 桁
1 ＰＲＭ　　ＳＴＯＰ　Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１
2 ＞　０　＝　ＭＺ－Ｔ１Ｍ１　　　　　　←　現在のカーソル位置
3　　１　＝　１
4　　２　＝　４８００
```

③ パラメータファイルの保存：何もパメータ値を変更せずに。

START スタートキーによって現在のパラメータ値をファイルにセーブします。

＜画面表示＞

```
   1                10                  20 桁
1 ＰＲＭ    ＥＮＤ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１
2
3
4 ＊＊＊＊＊＊＊  ＥＮＤ    ＊＊＊＊＊＊＊
```

④ パラメータ設定の終了： RESET リセットキーを押してください。

「OUT モード」に戻ります。

以上でT1M1用のパラメータに設定できましたが、うまく通信出来ない場合は
パラメータの＃2　通信速度と＃53　返送データのパリティを変更して下さい。

2. MAZATROL T2、M2以降の場合

① 通信パラメータを選択する。MZ－T2M2を選択する。

＜画面表示＞

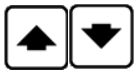
```
  1              10                20 桁
1 OUT    SEL      ＞1234
2 DATA－1          O0001
3 F: 4             O0002          F：ファイルの数
4 R: 222.4M        5432.NC        R：残りディスク量
```

ファンクションの選択: PRM パラメータキーを押してください。

パラメータ設定モードになり、パラメータファイルの選択画面になります。

＜画面表示＞

```
  1              10                20 桁
1 PRM    SEL      ＞DEFAULT
2                  USER096
3                  USER192
4 Ver 4.5.8        USER384        Ver：ファームウェアのバージョン
```



② ファイルの確定: ▲ ▼ カーソルキーにて変更する

MZ－T2M2ファイルを選択してください。

＜画面表示＞

```
  1              10                20 桁
1 PRM    SEL      MZ－T1M1
2                ＞MZ－T2M2
3                  DEFAULT
4 Ver 4.5.8        USER096
```

SET セットキーを押してください。PRM ファイルが確定されます。

＜画面表示＞

```
  1              10                20 桁
1 PRM    STOP  P：MZ－T2M2
2 ＞  0  ＝  MZ－T2M2                ←  現在のカーソル位置
3     1  ＝  1
4     2  ＝  4800
```

③ パラメータファイルの保存：何もパメータ値を変更せずに。

START スタートキーによって現在のパラメータ値をファイルにセーブします。

＜画面表示＞

```
   1                10                  20 桁
1 ＰＲＭ    ＥＮＤ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２
2
3
4 ＊＊＊＊＊＊＊  ＥＮＤ    ＊＊＊＊＊＊＊
```

④ パラメータ設定の終了： RESET リセットキーを押してください。

「OUT モード」に戻ります。

以上でT2M2用のパラメータに設定できましたが、うまく通信出来ない場合は
パラメータの＃2　通信速度と＃53　返送データのパリティを変更して下さい。

操作１：　データの入力

指定されたディレクトリの指定されたファイルにMAZATROLからのデータを書き込みます。

１－１ プログラムの入力（新規ファイルの場合）

① ファンクションの選択: IN インキーを押してください。

入力モードになり、ファイル選択モードになります。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＥＬ     ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
3 Ｆ：４                Ｏ０００２
4 Ｒ：２２２．４Ｍ      ５４３２．ＮＣ
```

② ファイル名の直接入力: リターンキーを押してください。

ファイル名の直接入力モードになります。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 ■
3
4
```

③ ファイル名を入力して下さい。

例えば、O2000の場合

5 MNO のキーを押します。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 5■
3
4
```

次に ALP アルファベットキーを5回押します。

すると表示が、 5→M→m→N→n→O と変化します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 Ｏ
3
4
```

続けて

[2 VWX] [0 _:.] [0 _:.] [0 _:.] と押します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 Ｏ２０００
3
4
```

次に[↵]リターンキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ　　ＳＴＯＰ　Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１　　← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１　　Ｏ２０００　　← 現在のフォルダ　ファイル名
3　　Ｎｅｗ Ｆｉｌｅ
4
```

⑥ 入力開始: [START]スタートキーでデータ入力待機状態となります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ　　ＲＵＮ　　Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１　　← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１　　Ｏ２０００　　← 現在のフォルダ　ファイル名
3 ００００００００　　Ｎｅｗ Ｆｉｌｅ
4
```

⑦ MAZATROL からプログラムを出力して下さい。

データを受信しますと3行目と4行目に入力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＲＵＮ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ２０００          ← 現在のフォルダ　ファイル名
3 ００００２０４８      Ｎｅｗ Ｆｉｌｅ    ← 入力データ量
4 ＞                                    ← 入力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は入力データが2048以上で表示します。

⑥ 入力終了: データ入力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＥＮＤ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ２０００          ← 現在のフォルダ　ファイル名
3 ００００２５１３      Ｎｅｗ Ｆｉｌｅ    ← 入力データ量
4 ＊＊＊＊＊＊＊ ＥＮＤ  ＊＊＊＊＊＊＊   ← 入力終了を示すインジケータ
```

RESETリセットキーを押してください。OUTモードのファイル選択状態になります。

1－2 プログラムの入力（既存ファイルを選択する場合）

② ファンクションの選択: IINインキーを押してください。
入力モードになり、ファイル選択モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＥＬ     ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ０００１
3 Ｆ：４              Ｏ０００２
4 Ｒ：２２２．４Ｍ     ５４３２．ＮＣ
```

⑤ ファイルの選択:
例えば、O0002の場合

▲▼カーソルキーで ＞マークをO0002の位置まで移動して下さい。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＥＬ      １２３４
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ０００１
3 Ｆ：４            ＞ Ｏ０００２
4 Ｒ：２２２．４Ｍ     ５４３２．ＮＣ
```

⑥ ファイルの確定: 入力するファイル名を確定します。[SET]セットキーを押して下さい。

既存ファイルを選択した場合、データを上書き入力して問題ないかどうかを再確認する
「Overwrite? Yes/No」という確認画面が表示されます。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＴＯＰ  Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２     ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００２        ← 選択したファイル名
3
4 Overwrite?      [Yes]     No
```

確認後、実行してよければ Yes、戻る場合は No を選択します。

Yes/No の選択は[▲][▼]カーソルキーで選択し、[↵]リターンキーで決定します。

またはテンキー, Yes: [1 STU] / No: [2 VWX]で選択します

[Yes]を選択すると、3行目に決定したファイルの日付とサイズが表示されます。
4行目に選択されたファイルの先頭2行の内容が表示されます。
表示されているブロックデータの内容は、カーソールキーを上下する事によって確認できます。
表示可能な行数は、10Kバイト（1万文字）までです。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＳＴＯＰ  Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２     ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００２
3 ０９／１０／１０      ５４５３          ← 日付   サイズ
4 ３１１５０００００００１００００００００  ← ブロックデータ
```

〔注〕ファイルの変更を行う場合は、[RESET]リセットキーを押してください。
ファイル選択の状態に戻ります。

⑦ 入力開始: [START]スタートキーでデータ入力待機状態となります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＲＵＮ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２     ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００２        ← 現在のフォルダ  ファイル名
3 ０００００００        ５４５３          ←                 元サイズ
4 ■
```

⑤ MAZATROLからプログラムを出力して下さい。
データを受信しますと3行目と4行目に入力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＲＵＮ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ０００２          ← 現在のフォルダ   ファイル名
3 ０００００２０４８      ５４５３          ← 入力データ量      元サイズ
4 ＞                                    ← 入力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は入力データが2048以上で表示します。

入力終了： データ入力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＩＮ     ＥＮＤ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２
2 ＤＡＴＡ－１        Ｏ０００２          ← 現在のフォルダ   ファイル名
3 ０００００２５１３      ５４５３          ← 入力データ量      元サイズ
4 ＊＊＊＊＊＊＊  ＥＮＤ    ＊＊＊＊＊＊＊   ← 入力終了を示すインジケータ
```

RESETリセットキーを押してください。OUTモードのファイル選択状態になります。

操作2: データの出力

指定されたディレクトリの指定されたファイルのデータをMAZATROLへ送出します。

〔注〕電源入力時および、終了／リセット時にはこのモードになります。

＜画面表示＞

```
    1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＳＥＬ     ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
3 Ｆ： ４               Ｏ０００２          Ｆ：ファイルの数
4 Ｒ： ２２２．４Ｍ      ５４３２．ＮＣ      Ｒ：残りディスク量
```

2－1 ファイルをカーソルキーで選択して出力する

① ファンクションの選択: [OUT]アウトキーを押してください。

ファイル選択モードになります。

④ データファイルの選択: [▲][▼] カーソールキーにてファイルを選択してください。

⑤ ファイルの確定: 出力するファイルを確定します。[SET]セットキーを押してくだい。

3行目にファイルの日付とサイズが表示されます。

4行目に選択されたファイルの先頭1行の内容が表示されます。

表示されているブロックデータの内容は、カーソールキーを上下する事によって確認できます。

表示可能な行数は、10Kバイト（1万文字）までです。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＳＴＯＰ  Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ０９／１０／０８      ９０８２            ← 日付   サイズ
4 ３１１１０００００００１００００００００   ← ブロックデータ
```

〔注〕ファイルの変更を行う場合は、[RESET]リセットキーを押してください。 ファイル選択の状態に戻ります。

⑥ 出力開始: [START]スタートキーでデータ出力待機状態となります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＲＵＮ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ００００００００      ９０８２            ← 出力データ量   データサイズ
4 ■
```

MAZATROLからのスタート信号(読込操作をする)を受信するとデータを出力開始します。
その時、3行目と4行目に出力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＲＵＮ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ００００２０４８      ００００９０８２    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＞                                        ← 出力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は出力データが2048以上で表示します。

⑤ 出力終了: データ出力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＥＮＤ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ１Ｍ１
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ００００９０８２      ００００９０８２    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＊＊＊＊＊＊＊  ＥＮＤ   ＊＊＊＊＊＊＊    ← 出力終了を示すインジケータ
```

RESETリセットキーを押してください。ファイル選択状態になります。

2－2 ファイル名を直接入力して出力する

① ファンクションの選択: OUTアウトキーを押してください。
ファイル選択モードになります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＳＥＬ      ＞１２３４
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００１
3 Ｆ：４                Ｏ０００２
4 Ｒ：２２２．４Ｍ      ５４３２．ＮＣ
```

↵リターンキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ  ｆｉｌｅ  ｎａｍｅ：
2 ■
3
4
```

⑥ ファイル名を入力して下さい。
例えば、O0002の場合

[5 MNO]のキーを押します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 5█
3
4
```

次に[ALP]アルファベットキーを5回押します。

すると表示が、 5→M→m→N→n→O　と変化します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 O█
3
4
```

続けて

[0 _:.] [0 _:.] [0 _:.] [2 VWX] と押します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 Ｉｎｐｕｔ　ｆｉｌｅ　ｎａｍｅ：
2 Ｏ０００２█
3
4
```

次に[↵]リターンキーを押してください。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ　　ＳＴＯＰ　Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２        ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１　　　　Ｏ０００２
3 ０９／１０／１０　　９１０８６　　　　　　　← 日付　サイズ
4 ３１１１０００００００１００００００００　　← ブロックデータ
```

⑦ 出力開始：[START]スタートキーでデータ出力待機状態となります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ　　ＲＵＮ　　Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２        ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１　　　　Ｏ０００２
3 ００００００００　　００００９１０８６　　← 出力データ量　データサイズ
4 █
```

MAZATROLからのスタート信号(読込操作をする)を受信するとデータを出力開始します。

その時、3行目と4行目に出力の状態を表示します。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＲＵＮ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２      ← 現在有効なパラメータファイル
2 ＤＡＴＡ－１          Ｏ０００２
3 ０００００２０４８      ０００９１０８６    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＞                                        ← 出力中を示すインジケータ
```

但し、インジケータの表示は出力データが2048以上で表示します。

⑧ 出力終了: データ出力が終了したときは以下の表示になります。

＜画面表示＞

```
   1              10              20 桁
1 ＯＵＴ    ＥＮＤ    Ｐ：ＭＺ－Ｔ２Ｍ２
2 ＤＡＴＡ－１          １２３４
3 ０００９１０８６      ０００９１０８６    ← 出力データ量    データサイズ
4 ＊＊＊＊＊＊＊ ＥＮＤ  ＊＊＊＊＊＊＊    ← 出力終了を示すインジケータ
```

RESETリセットキーを押してください。ファイル選択状態になります。

mametan取扱説明書　　**簡単操作マニュアル**Ver2.2

リュウビシステム
〒669－1513　兵庫県三田市三輪4－9－14
TEL　079－562－4130　　FAX　079－562－4147
お問合せ：support@ryubisystem.jp
ホームページ：　http://www.ryubisystem.jp/
本書からの無断転載はお断りいたします
（記載の商品名は各社の商標です）